

令和4年度 妙義中央公民館事業報告

1 運営方針

(1) 基本方針

地域住民のニーズに合わせて各種講座教室を開催し、生涯学習の場、発表の場、交流の場等、市民の生涯学習活動の拠点として、地域に根ざした活動を実施します。また、地域課題の解決を目標とした、各団体の自立した体制づくりを支援します。

(2) 重点施策

- 地域の特性を活かし、幅広い年齢層に対応した教室や講座を開催します。
- 地域住民同士の交流を促進し、地域の活性化を図ります。
- 各種団体との連携を図り、協働の地域づくり活動の推進を行います。
- 妙義山関連イベント（みょうぎプロジェクト関連事業・紅葉フェスティバル）を開催します。

2 事業実績

対象	事業名	講座名	実施月	延人数	回数	主催 共催
小学生	青少年教室	読書感想文教室	7～8月	31人	2回	主催
		夏休み科学教室	8月	12人	1回	主催
小・中学生		妙義山を描く教室	5月	12人	1回	主催
成人	文化講座	万葉集・東歌の世界教室	9～1月	48人	5回	主催
		おいしいアイスコーヒーの淹れ方教室	8月	11人	1回	主催
		思い出の歌を訪ねて教室	5～11月	38人	5回	主催
		紅葉学級	10～3月	58人	4回	主催
		ゆるっと冬キャンプ体験	2月	7人	1回	主催
	健康講座	ヨガ教室	5～9月	24人	5回	主催
	子育て支援	ひと息サロン	1～3月	9人	2回	主催

小学生	地域づくり協議 会子育て高齢者 支援事業	入学祝品贈呈	7月	19人	1回	共催	
		子ども見守り	11～3月	112人	28回	共催	
中学生		自転車反射ステッカー贈呈	9月	80人	1回	共催	
高齢者		高齢者見守り 配食サービス	11～3月	175人	5回	共催	
		妙義地区敬老事業	10月	655人	1回	共催	
地域住 民		ひと息サロン	1～3月	19人	2回	共催	
地域住 民		地域づくり協議 会防犯・防災事 業	自主避難計画学習会	7月	47人	1回	共催
			避難所物品整備	11月	30人	1回	共催
		地域づくり協議 会地域活性化事 業	環境整備活動	9・10月	38人	2回	共催
			中央公民館イルミネー ション活動	12～2月	76人	2回	共催
	花いっぱい活動		12月	56人	1回	共催	
	巨大上毛かるた大会		12月	30人	1回	共催	
	映画上映会		1月	94人	2回	共催	
	地域づくり協議 会健康スポーツ 事業	軽スポーツ（ボッチャ） 講習会・練習会	10～3月	69人	4回	共催	
	市内	みょうぎプロジ ェクト事業	市民作品展	6月	147人	1回	共催

3 主な事業紹介

(1) 公民館教室「ゆるっと冬キャンプ体験」

①ねらい

令和4年度円卓会議で挙げられた「妙義でキャンプをする」という住民ニーズを取り入れて企画しました。

妙義山を始めとする地域の豊かな自然にを活かした事業として「キャンプ」を実施することで、自然に親しみ、地域の郷土愛を育てます。



②事業内容

妙義町諸戸にある「いとのにわキャンプ場」でキャンプ体験を行いました。

講師はキャンプ場管理人の水澤 充さん、ソロキャンパーの光武 明子さんに依頼し、キャンプ道具の解説や焚火のやり方について教示いただきました。講義後は講師のキャンプ道具を借りて、各自体験を行いました。参加者一人ひとりが火起こしに挑戦し、焚火で暖を取りました。

キャンプ場からは妙義山を眺めることができ、参加者同士が焚火を囲みながら妙義地域や自然について語り合い、交流を深めました。

(2) 事業の評価・反省

「ゆるっと冬キャンプ体験」は今年度開催した円卓会議での参加者の意見をもとに、妙義特有の地域資源を活用して今年度初めて開催しました。当日は地域の方を始め、富岡市内及び市外の方が参加し、キャンプに精通した講師2名が参加者と直接対話しながらキャンプを実践し知識を深める教室になりました。妙義山を眺めることが出来る立地の良い会場で、妙義山を眺めながら地域の豊かな自然を体感したようでした。

今回は、講師の水澤 充氏が管理する「いとのにわキャンプ場」で実施しましたが、民家を活用した施設であるため、駐車場敷地が少なく、近隣の妙義小学校駐車場を借用して参加者の駐車場の対応を行いました。今後より多くの参加者にキャンプ体験を行っていただくために、多人数を受け入れられる会場施設での実施が必要です。

また、キャンプ体験で使用した道具・薪等の材料は講師負担によるため、会場を変更する際は、道具や材料の手配が課題となります。

4 今年度のまとめ（総合的な評価・反省）

評価	評価理由、主な取組、工夫した点、課題等
3	円卓会議により住民ニーズを取り入れた事業が実施できました。さらに地域の活動や取り組みを知ってもらうため情報発信に努め、地域と共に郷土愛の醸成、未来の人材育成に繋がる事業に取り組めます。

◎評価の基準：5＝大変よくできた。4＝よくできた。3＝おおむねできた。

2＝あまりできなかった。1＝できなかった。